臨床研究へのご協力のお願い

「冠動脈疾患患者の原因別死因の検討」

1. 研究の目的、方法、および、これまでの研究の状況

冠動脈疾患（心臓の血管の病気）はわが国の主要な死亡原因のひとつであり，国内の患者数は約 65 万人（2020 年厚生労働省推計)です．近年の医療の進歩により，冠動脈疾患患者においても，心血管病以外の原因（癌など）で死亡する割合が増えています．したがって，冠動脈疾患患者においても，心血管病のみならず，他の様々な原因の死亡の危険性について予測することが出来れば，健康長寿の実現に役立つと考えられます．本研究は，過去に冠動脈造影検査を受けられた患者さんの入院時の保険診療データと最大 6 年間の診療データを電子カルテから取得して，冠動脈疾患の重症度と原因別死亡、癌発症の関係を調べ、将来の予防、治療に役立てることを目的としています。

2. 研究実施期間

承認日より 2028 年 3 月 31 日までの期間

3. 対象となる試料・情報の取得期間

2010 年 1 月から 2017 年 5 月まで京都医療センター循環器内科で心臓カテーテル検査を受けられた患者さんの入院時の冠動脈造影データと、検査後最大 6 年間の保険診療情報を電子カルテから取得します。

4. 保険診療データ利活用のお願い

本研究は、保険診療データを利活用するため、患者さまへの負担や費用は生じません。保険診療データ(アルコール摂取量、冠動脈造影画像データを含む)は、電子カルテから抽出し、研究対象者識別コードを用いて、電子媒体で厳重に保管されます。得られたデータは個人を特定できない形で解析を行います.

5. 保険診療情報の管理責任について

本研究の試料・情報の管理責任者は国立病院機構京都医療センターです。

6. 本研究へのご協力方法について

特にお申し出が無い場合は、本研究の趣旨をご理解いただいたものと判断して研究を進めさせていただきます。もし、本研究についてご同意いただけない場合は、下記に記載した当施設の研究責任者に外来窓口で直接、お電話あるいは郵送でお申し出ください。本研究にご同意いただけなくても、これからの治療に差し支えることは全くありません。

7. 利用または提供を開始する予定日

2024 年 11 月 18 日(委員会承認後)

研究機関の長：国立病院機構京都医療センター　院長
研究代表者(研究責任者)：国立病院機構京都医療センター　臨床研究センター　和田　啓道
連絡先：075-641-9161（代表）